

報道関係者 各位

## 【ご案内】

### 2. 26集会

## 「ガザへのジェノサイドを許さない！即時停戦と封鎖解除を！」

場所 衆議院第2議員会館多目的会議室

日時 2月26日（月）14：00～15：30

#### 呼びかけ団体

ガザ緊急アクションなごや

パレスチナに平和を！緊急行動

〈パレスチナ〉を生きる人々を想う学生若者有志の会

武器取引反対ネットワーク（NAJAT）

問い合わせ先：[husen@jca.apc.org](mailto:husen@jca.apc.org) / 050-3593-5130

#### 集会プログラム(予定)

1. あいさつ・経過報告
2. 呼びかけ団体による要請書の説明
3. 呼びかけ団体からの発言
4. 中東研究者からの発言 黒木英充氏(東京外国語大学アジア・アフリカ言語文化研究所教授)
5. 国際法研究者からの発言 高橋宗瑠氏  
(大阪女学院大学教授・元国連人権高等弁務官事務所パレスチナ副代表)
6. 在日パレスチナ人からの発言
7. 国会議員からの発言

集会を行う2月26日は、国際司法裁判所(ICJ)がイスラエルに対し、ガザで起こりうるジェノサイドを阻止するよう求めた仮保全措置命令からちょうど1か月です。イスラエルはこの日までに、命令の履行状況について報告する義務があります。しかし、ネタニヤフ首相はガザ人口の3分の2が避難する南部ラファへの侵攻を命じるなど、攻撃をむしろ加速させています。

私たち呼びかけ団体は、イスラエルのガザ攻撃停止を求める市民グループです。今月初めには、日本企業2社がイスラエルの軍事企業との戦略的覚書を破棄するなど、市民の声が広がっています。

集会では、イスラエルに国際法の順守を求めるため日本政府が取るべき措置を、専門家の方を交えて国会議員にお伝えします。日本政府によるUNRWAへの拠出金の停止が、ガザでのジェノサイドの共犯となるため即時撤回する必要性も訴えます。国会議員の方にもご発言いただきます。ぜひご取材ください。